

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 23-80

補助事業名 平成23年度 循環型社会における3Rに関する調査研究等 補助事業

補助事業者名 財団法人 クリーン・ジャパン・センター

1 補助事業の概要

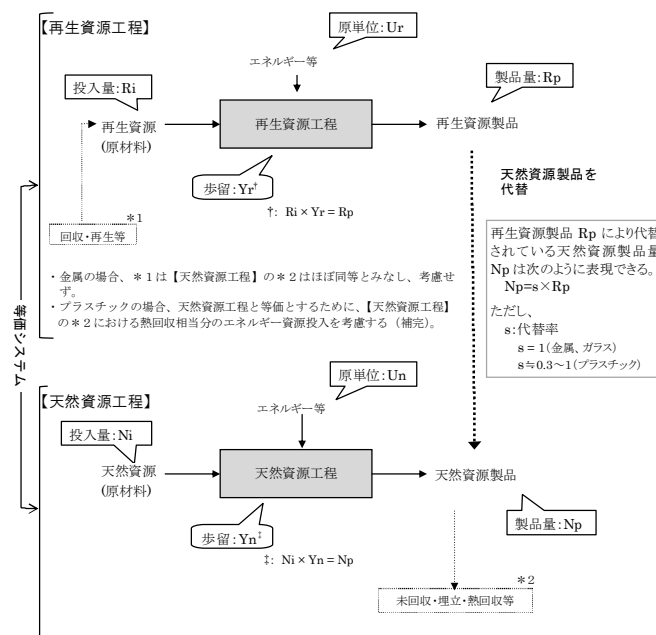
(1) 事業の目的

産業廃棄物問題、資源環境の急激な変化、温室効果ガス排出削減問題等の対応策として、産業廃棄物や使用済み機械製品等の3Rを推進するため、3Rに関する技術及び社会システムの調査研究並びに国内外における最新の3R技術や関連法制度・施策等に関する最新情報の収集提供を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

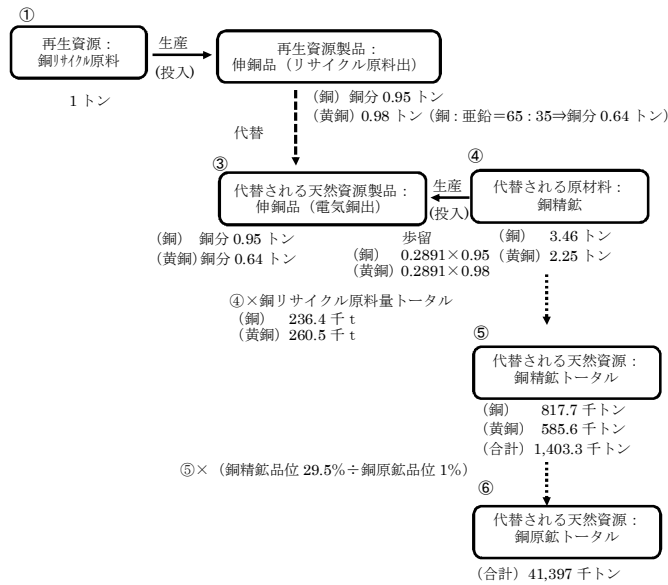
(2) 実施内容

① リサイクルによる資源消費削減に関する調査研究

ライフサイクルアセスメント（LCA）の手法に則り、公表されている統計データやインベントリデータを使用してリサイクルの天然資源消費の削減効果を算定した。主な内容は、①品目毎の生産構造及び原材料・エネルギー消費量の調査、②LCA手法に則った天然資源消費削減効果の算定手法の調査研究、③品目毎のリサイクルによる天然資源消費削減効果の算出、分かりやすい表現方法の研究。



再生資源製品による天然資源製品の代替の概念



### 天然資源 (銅原鉱) 消費削減量の試算結果 (2010年度)

#### —伸銅品原料としてのリサイクル—

### ② レアメタル需給逼迫とリサイクルに関する調査研究

レアメタルの価格推移と需給動向を調査した上で、コバルトやリチウム等のレアメタルを必要とするリチウムイオン電池が、今後ハイブリッド自動車・電気自動車などの次世代自動車で大量に使用されることから、リチウムイオン電池のリサイクル技術やリサイクルシステムを調査研究した。



自動車用Li 電池デバイスの解体フロー

## 2 予想される事業実施効果

### ① リサイクルによる資源消費削減に関する調査研究

本調査研究の成果であるリサイクルによる天然資源消費削減効果の算定手法を適用することにより、LCA手法に則ったリサイクルによる天然資源消費削減効果が算定できる。今後、本調査研究の委員会委員の所属団体からその会員等へ本手法、本手法の成果が広まるので、事業者等に更にリサイクル推進のモチベーションが高まることが期待される。

### ② レアメタル需給逼迫とリサイクルに関する調査研究

リチウムイオン電池は、ハイブリッド自動車や電気自動車において大量に使用予定である。現在これらの使用済み自動車が廃棄され始めている。今後リチウムイオン電池の大量に廃棄に対応するためのリサイクル技術及び社会システムの確立が必要となることから、本報告書はこれらの対応に役立つものである。

## 3 本事業により作成した印刷物等

リサイクルによる資源消費削減に関する調査研究報告書

レアメタル需給逼迫とリサイクルに関する調査研究報告書

財団法人 クリーン・ジャパン・センターは、平成24年3月31日付をもって解散いたしました。